

市内景気動向調査結果

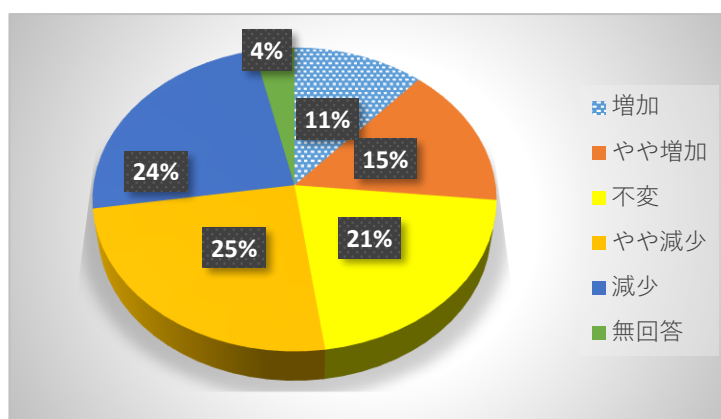
この調査は、第4四半期（本年年1月から3月）と前年の同期間（3ヶ月）を比較し当商工会員より回答いただいたものです。

| 回答数 | 建設業 | 製造業 | 運輸業 | 卸小売業 | サービス業 | その他 |
|-----|-----|-----|-----|------|-------|-----|
| 113 | 29 | 20 | 9 | 23 | 22 | 10 |

※その他は、回答数が少なかった飲食業、不動産業、金融保険業、農業

1. 売上高はどう変化したか。

| | |
|------|-----|
| 増加 | 13 |
| やや増加 | 17 |
| 不変 | 24 |
| やや減少 | 28 |
| 減少 | 27 |
| 無回答 | 4 |
| 合計 | 113 |

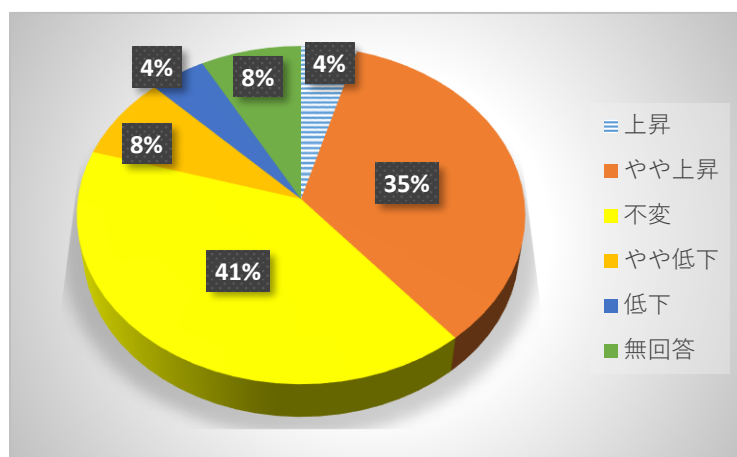


【コメント】

- 増加・やや増加が、第2四半期では49.3%、第3四半期は34.5%であったが、第4四半期では26.5%に減少。やや減少・減少は27.2%、36.6%、48.7%と増加している。
- 業種別では、第3四半期まで比較的好調であったサービス業、運輸業ともに増加・やや増加よりもやや減少・減少のほうが上回る結果となり、好調な業種がなくなってきた。
- 新型コロナウイルスの感染拡大等により、インバウンド需要が大きく減少し、バス事業者をはじめとする多くの事業者に影響がでた。

2. 仕入単価はどう変化したか。

| | |
|------|-----|
| 上昇 | 5 |
| やや上昇 | 39 |
| 不変 | 46 |
| やや低下 | 9 |
| 低下 | 5 |
| 無回答 | 9 |
| 合計 | 113 |

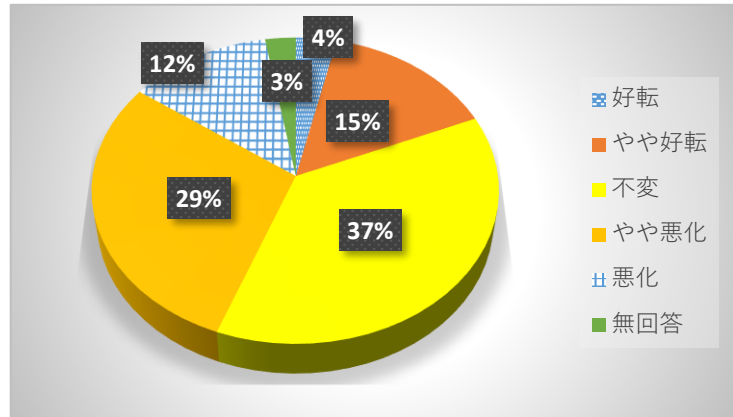


【コメント】

- 第3四半期は、上昇・やや上昇が約57%であったが、第4四半期約では40%に減少しているが、まだ高い水準にある。
- 依然高い水準にはあるものの、上昇傾向は緩やかになっている。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、中国で生産している資材が入荷しないなどの影響もあった。

3. 採算について

| | |
|------|-----|
| 好転 | 4 |
| やや好転 | 17 |
| 不変 | 42 |
| やや悪化 | 33 |
| 悪化 | 14 |
| 無回答 | 3 |
| 合計 | 113 |

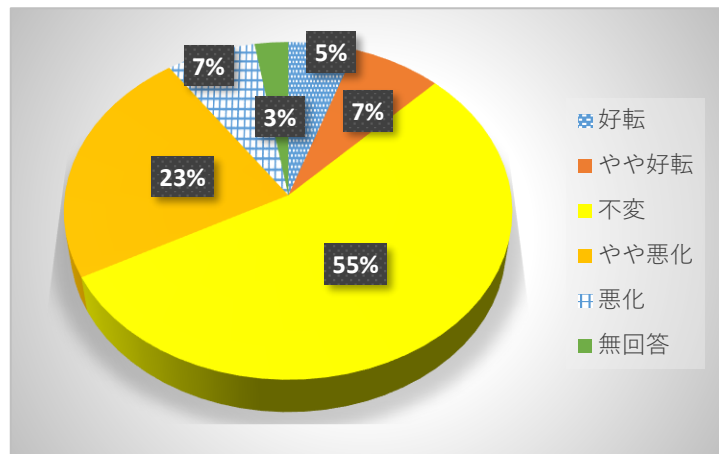


【コメント】

- やや悪化・悪化が第3四半期と比較して約10ポイント上昇した。
- やや悪化・悪化の業種別では、第3四半期に続き運輸業が一番高く約56%、次いで製造業が約45%、卸小売業が約43%であった。

4. 資金繰りについて

| | |
|------|-----|
| 好転 | 6 |
| やや好転 | 8 |
| 不変 | 62 |
| やや悪化 | 26 |
| 悪化 | 8 |
| 無回答 | 3 |
| 合計 | 113 |

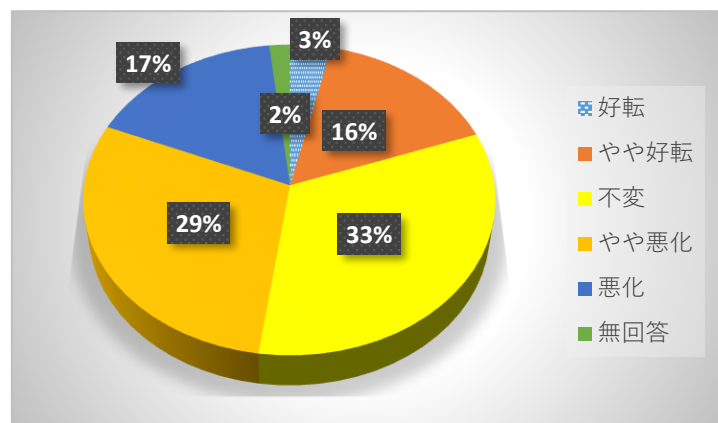


【コメント】

- やや悪化・悪化が第3四半期より約17ポイント増加した。採算性の悪化が資金繰りに影響している。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、休業や営業の自粛、消費の縮小等により、今後は借入金への依存度が高まる。

5. 業況について

| | |
|------|-----|
| 好転 | 4 |
| やや好転 | 18 |
| 不変 | 37 |
| やや悪化 | 33 |
| 悪化 | 19 |
| 無回答 | 2 |
| 合計 | 113 |



【コメント】

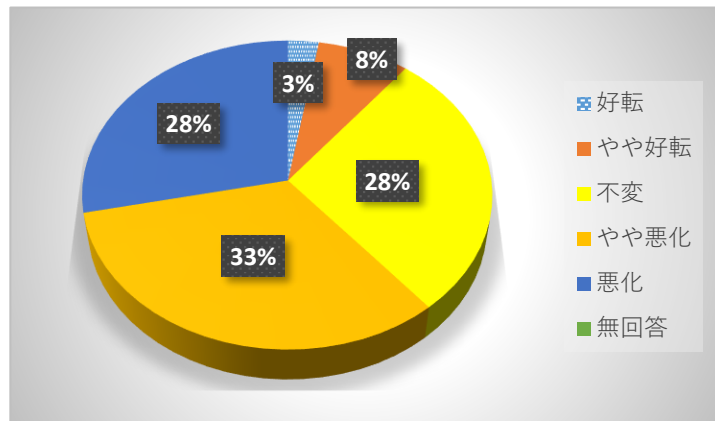
- 業況については、個人向けの食料品を扱う事業では良好であるが、その他の事業では軒並み悪化している。悪化した第3四半期から10ポイント増加し

17ポイントとなった。

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後も悪化が見込まれる。

6. 今後3ヶ月間の業況について

| | |
|------|-----|
| 好転 | 3 |
| やや好転 | 9 |
| 不変 | 32 |
| やや悪化 | 37 |
| 悪化 | 32 |
| 無回答 | 0 |
| 合計 | 113 |



【コメント】

- 消費税増税の影響もあると思われるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい。
- 新型コロナウイルス感染が広がり、収束が見えないため事業者としてもどう対応してよいか迷っている。
- 新型コロナウイルスの影響で、やや悪化・悪化と回答した方が約61%おり、いかに新型コロナウイルスの影響が大きいかわかる。

■ 回答事業所からのコメント

- ・ キャッシュレス（カード）支払の5%負担、新型コロナウイルスによる物の流れの減少に伴い、企業からの依頼が減ってきた。
- ・ 建築業で下請として仕事をしていますが、今のところ変わらない様子です。
- ・ 消費増税による影響はありませんでした。1月末までは例年どおりの売上でしたが、新型コロナウイルスによって外国人の入国が制限された以後、観光客の激減によって、2月、3月の売上が半分以下に落ち込んでおります。特にすすきの店は売上7割減となっています。
- ・ 当店は5%還元のため、カード支払を目的としたお客様が増えました。時にタバコも5%還元のためタバコの売上が増えています。
- ・ 機械を導入して効率よく作業ができた。
- ・ 出店した店舗の稼働が安定し、昨年に比べると好転している。また創業時からの未払金などがほぼ完済したため、収支が安定している。
- ・ 今冬は少雪の影響で稼働日数が減り、前年の半分以下となりました。
- ・ 工事完了が早めになったためだと思う。
- ・ 業界全体としては、これから繁忙期に入るので状況は好転してくると見込まれるが、仕入等の単価は上昇傾向にある。
- ・ コロナ問題で、資材、部品、製品の納期に遅れ、または未定となり工事が進まなくなっている。
- ・ 胆振東部震災以降、発電機設置工事の需要が高まり収益拡大に繋がった。
- ・ コロナウイルスによる取引先、飲食店等の売上減のため。
- ・ 入居者の減少
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、お客様が車で出かけるのを控えてしまった。
- ・ コロナの影響で現場が着工されないため売上がないので大変な状況である。
- ・ 来店周期の伸びか。外出自粛か。
- ・ 仕入先がコロナウイルスの影響で、商品の入荷が遅れるとの情報が入っている。
- ・ 得意先の変化とお客様ニーズの変化。また時代の変化に対応できていない状況です。
- ・ 得意先が増加した。多少物によっては仕入変化があるが特に問題はない状況。
- ・ 燃料価格が落ち着いているため、業況に変化は感じていない。

- ・ 昨年10月の消費増税と今年1月発症の新型コロナウイルスによる影響が全てだと思います。
- ・ 建設関係の工事の遅れ。
- ・ 道内の民間企業発注の件数が低下しているものと思います。
- ・ 消費増税以降厳しい商環境が続いていたが、うるう年で1日営業日数が多かったことと新型コロナウイルスによる影響で巣ごもり需要が発生したことがプラスの要因となる。
- ・ 現状、エネルギー（LPガス、灯油）需要は変わらない。
- ・ 生産品目の増加や原料、資材費の価格交渉等により採算は好転したが、設備投資や新型コロナウイルスの影響による物資調達の不安定等、厳しい状況が想定される。
- ・ コロナウイルスの影響により、顧客の購買意欲低下。先行きが見通せない状況になっている。
- ・ 前年度の残業務が残っていたため。
- ・ 除雪業務を拡大したため。
- ・ 我が社では除雪もやっているのですが、雪不足の影響が大きかった。
- ・ 1月と2月は良かったですが、3月に入りコロナの影響で3割くらい売上が下がった。卒業式の保護者の来店が減ったのが大きく出ていると思います。
- ・ チラシサイズが大から小に。セット販売が朝刊読者に。
- ・ 雪が少なかったため悪化しました。
- ・ コロナによる外出自粛要請における来店数減少と臨時休業における売上ダウン。消費税増税による利益の圧迫。
- ・ 2月までは仕事がありましたが、3月からコロナでドライバーも休業に。先の見通しが立たない。
- ・ 年間を通して売上を判断するため、1月～3月のみの売上増に対する原因等は特にありません。
- ・ 継続の工事が多かったから。
- ・ 建設業の市場は上向きですが、4月以降についてはコロナの影響でどうなるか不透明です（中国部品、資材入荷遅れなどもあり）。
- ・ 4月17日オープンですが、予約が20%落ちており今後さらに悪化する恐れあり。
- ・ 灯油小口販売なので、あまり変わらない。
- ・ 2019年度 各社の設備投資計画が20年度に延期になり、受注高の減少が減収、損益悪化の原因となった。現在の商談状況から20年度は回復の見込み。
- ・ 新型コロナウイルスによる荷主先の売上減による物量減。
- ・ 公共工事の入札に参加しているが落札できていない。
- ・ 今後、コロナの影響（官民間問わず）による悪化が予想される。
- ・ 新型コロナウイルスの影響でイベントの中止があった。経営的には、これからが売上に反映されるだろう。
- ・ 依頼者の経済状況が悪くなってきている。
- ・ 受注高の変化。コロナウイルスによる影響懸念。
- ・ コロナの影響で、ホテル、飲食店からの注文が激減した。
- ・ 教習車両を新車購入、板金の修復、新聞折込広告等、今までしていいなかったことを積極的に言い、教習生の集客に力を入れた。
- ・ 当社の受注内容は官公庁が50%、民間大型マンションの大規模改修等が50%の比率ですが、大型マンション（40戸～200戸）がコロナウイルスの影響で工事発注の中止および延期が多数発生し、今年下期は相当悪影響が発生する。
- ・ コロナの影響で売上が3～4割減少している。
- ・ 人手不足のため受注量を減らしたため、外注費が減り増益に繋がった。
- ・ 温暖化のため積雪が少なかったことで、配送数量等が伸びませんでした。
- ・ 新型コロナウイルスによる外出自粛の影響。卒業式（小学校）のハカマの着付けのキャンセルなど。
- ・ 銀行業務の運営（支店）であり、金融商品の販売が微増したためQ2、Q4は増加と答えていますが、市場の混乱が3月初めから始まり、同商品の販売減少が見込まれるためQ7を悪化としています。
- ・ 雪解けが早かった分、納品が前倒しになり売上が増えた。コロナの影響でこれから

は多くを望めないと思う。

- ・ コロナの影響だと思われるが、例年3月は繁忙期なのですが、今年は客足が途絶えています。処理中の案件で、コロナで外出が怖いので事務所に行けないというお客様もおります。
- ・ 排出側の影響により減少。回復の見通しは不明。
- ・ たまたま大型物件獲得で売上upしたも、取引先の廃業、コロナウイルスでエンドユーザーの財布のひもが引き締められた。
- ・ イベント中止のため、その減が店の売り上げ上昇分でカバーできなかったため。
- ・ 取引先の大型商業店（百貨店等）の売上が減少。
- ・ 冬季は現場の仕事が少ないため。
- ・ 歓送迎会はもちろん、法事、少人数の予約もキャンセル。営業しても客入り少ない。
- ・ 空きテナントの問い合わせ減少。
- ・ 顧客売上高減少により注文が少なくなった。
- ・ 2月末からのコロナウイルスによる緊急事態宣言により、客足が鈍いと思う。客数、売上共に減少。
- ・ 消費増税、最低賃金の上昇による人件費増。コロナウイルス。

7. 消費税・新型コロナウイルスによる影響はありましたか。

- ・ コロナの影響か、外出を控えていたり、来訪しないで欲しいと言われたりしました。商品が入ってくるのが遅くなっていて、売れても待たせてしまうことが多くなってきました。
- ・ 取引先の売上が急速に悪化し、取引内容の縮小となった。
- ・ 予約3件がキャンセル（売上約20万円）になり、収入が減る。
- ・ 見積もりからの受注が大半となった。受注に時間が掛かるようになった。
- ・ 増税の影響はありませんでした。しかし新型コロナの影響が直接目に見える業種ではありませんが、経済が悪化すれば当然、新築や改築などの工事も減少していくと思いますので、これからどうなるか不安です。
- ・ 増税に関しては駆け込み需要の反動はあったものの平均すると影響なし。新型コロナウイルスに関しては現段階では影響なし。
- ・ コロナで学校がお休みの為、お菓子、カップ麺、パン、アイス等が通常より売上が増えています。
- ・ 福祉事業の為、消費税は関係ないが、コロナについては心配。幸い、現状は影響もなく、早めに運転資金も用意しているので問題はない。
- ・ 発送が多くなった。
- ・ 経費支払時の増税。コロナウイルスにより利用者減になった。
- ・ 2月、3月のコロナウイルスによる営業自粛のため（取引先）。商品在庫が増えていく。
- ・ 客数の減少。
- ・ 北海道知事のイベント自粛の要請があつて、毎年一番売上の作れる時に積極的な営業ができなかった。
- ・ 中国からの学生10室分未着。
- ・ 数字が落ちている要因の中には、増税による買い控え、コロナによる外出自粛以外ないのでは。
- ・ 来店客数が減少し売上にも影響が出ている。
- ・ 鶏卵の販売は順調。液卵はお菓子関係が不調。メーカーでは納品ゼロ。4～6割ダウン。
- ・ 2月後半以降キャンセルの発生等により壊滅的な影響を受けている。
- ・ 集客数の低下や購買意欲の低下。
- ・ 消費増税……資金繰りにやや影響あり。新型コロナウイルス……現段階では影響なし。
- ・ 消費税で売上数量、金額減少。新型コロナウイルスで更に売上数量、金額減少と数ヶ月先の予定を立てられない。
- ・ 売上の悪化。注文キャンセル。

- ・世界的に気持ちが萎縮して前向きな投資を控えている。消費が減少している。
- ・新型コロナウイルスの影響で米や冷凍食品、家庭紙などの売上増が特に顕著で、食料品は全般にプラス、衣料品やフードコートはマイナスで推移。
- ・今後、売上金の回収が懸念される。
- ・営業の自粛と部材の入手困難 (MADE IN CHINA) が発生している。中国に依存ばかりしていると有事の時に日本はどうなるか。コストが高くても、ある程度国内 (MADE IN Japan) で生産しないと大変なことになる。
- ・新型コロナウイルスに直接関わる消毒液等は生産していないが、取引先からの今後の不安等による納期調整の話があり、状況を注視し続ける必要を感じている。
- ・影響が大きい。6月～9月の売上見通しが立っていない。3月下旬になり、やや受注が戻りつつあるが。
- ・予定していたニセコの案件が延期となりました (1件)。
- ・ペットホテルのキャンセル。
- ・グループ会社の収益悪化。
- ・仕事が100%3月～5月キャンセルに。この先仕事があるか分らないです。
- ・今のところ現場にて発生がないため、作業、売上等に影響はありませんが、状況が長引くと材料の不足問題が出てくると予想されます。
- ・直接大きな影響はなかったが、イベント中止による売上減は多少あります。
- ・新型コロナウイルスの影響により予約、特に本州客や接待客の減少として影響あり。
- ・中国を生産拠点とする一部部品について納期に影響あり。
- ・イベント等の中止。レンタル品のキャンセル。
- ・仕入単価の上昇、欠品等による現場納期の遅延 (コロナ)
- ・消費税については100%転嫁している。新型コロナウイルスについては、4～5月に影響が出ると思われる。
- ・対面相談ができなくなっている。
- ・消費増税の影響は余り感じられません。コロナでは業務用米の落ち込みがかなりありましたが、一般客の需要が高まったことで少しは助かった。
- ・消費増税前に料金値上げをしていたが影響は見られませんでした。新型コロナウイルスによる影響は、学生さんが休校となり入校生が増えた。
- ・建設工事一時停止や建機および機械のパーツが輸入できず、更に各資材の価格見直し、値上げ等も発生しており今後他面に影響が出るものと思われる。
- ・消費税は影響なし。ウイルスの影響は今のところないが、今後大規模な景気悪化が心配。
- ・新型コロナウイルス対策として、レッスンの休講や消毒に関わる消耗品費の増
- ・新型コロナウイルスの影響により、春から飲食店の開店時期が延び、機械の納品が決まらない。
- ・お客さんは高齢だったり、冬は足元が悪く外出を控える。デイサービスや老人クラブを控えるため美容室に出ない。
- ・消費増税の影響はほぼ無し。コロナによって、1月に決まっていた注文がキャンセルされた。
- ・お客様の稼働落ち込みにより影響あり。
- ・コロナウイルスの影響あり。当社運送顧客による3月の展示会が全面中止。
- ・消費増税の影響はないが、新型コロナウイルスでは取引先が休業等で影響大である。
- ・コロナウイルスにより、予定していた商談がストップしている。
- ・売上減少、資金不足。今後、従業員確保の厳しさ。
- ・今後、家賃滞納などの不安があります。
- ・現時点では直接の影響はありませんが、大手ゼネコンが建設工事を一時中断する動きもあるため、今後の受注に影響が出ると思います。
- ・緊急事態宣言による外出自粛や学校の休校、人と人の接触を避ける傾向があるため、入店客の減少がある。
- ・学校が休みにになり、家から子供を出さないというご家庭が何件かあり、キャンセルが何件か発生したため、利用延べ人数が減り、かなり売上が落ちた。
- ・新聞購読者の減少。折込依頼件数の減少